

授業科目(ナンバリング)	栄養教育論Ⅰ(1B250) (実務的教育科目)			担当教員	川野 香織 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
健康の維持・増進、生活習慣病等の発症予防のための栄養教育の定義と目的を理解し、栄養教育を行うための理論を学修する。具体的には、対象者の栄養状態の維持や改善に向けては、栄養教育によって対象者の行動変容を促すことが重要であり、その際に必要な行動科学理論や栄養カウンセリング、栄養教育マネジメントを理解し、栄養教育へ応用できる基礎知識を修得する。							①②③⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	栄養教育の目的や対象者の行動変容に必要な知識や理論を説明できる。			・定期試験 ・小テスト		50% 10%	
情報収集、分析力	対象者の情報から課題を明確にし、栄養教育に必要な理論や技法を選択することができる。			・定期試験 ・課題レポート		10% 10%	
コミュニケーション力	対象者の自己決定や行動変容を促す支援方法を栄養カウンセリングに基づいて理解をし、コミュニケーションの重要性を説明できる。			・定期試験		10%	
協働・課題解決力	栄養教育の内容が時代背景に応じて変化することを理解し、現代の健康問題について栄養教育の観点から適切な解決策を提案できる思考力を持つことができる。			・定期試験		10%	
多様性理解力							
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・受講態度(10%)は、予習・復習を行ったうえで授業に臨んでいるかを、毎回授業開始時の小テストで評価する。課題レポート(10%)は、第9回目に課し、行動科学理論を実際の栄養教育に結びつけて理解できているかを評価する。定期試験(80%)は、筆記試験とし、栄養教育の目的や行動科学理論、カウンセリングの手法、栄養教育マネジメントを理解できているかを評価する。 ・小テストや課題レポートはポートフォリオ、授業の理解度はレスポンスを活用し、それぞれ授業内でフィードバックする。 							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育の定義や目的をはじめ、個人および集団を対象とした栄養教育に必要な基礎知識を学修する。基礎知識の主な内容は、食行動の変容を促すために必要な行動科学理論や栄養カウンセリング、栄養教育マネジメントサイクルとする。また、本科目を踏まえ、栄養教育論Ⅱではライフステージ別の具体的な栄養教育を学修する。 ・教員の病院や保健所での実務経験から具体的な事例を取り入れ、より実践的な理解へ導く。 ・授業は、教科書に準じて行い、必要に応じてプリントやスライド、動画を使用する。 ・この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分である。 							
教科書・参考書							
教科書：『三訂マスター栄養教育論』建帛社、『管理栄養士・栄養士必携』第一出版 参考書：資料を適宜配布する。 指定図書：『三訂マスター栄養教育論』建帛社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・講義を通じて、自分の生活環境において関連する事項を抽出しながら、栄養教育が身近なものであることを理解し、管理栄養士・栄養士としての使命感、倫理観、職業観などが培われることを期待する。 ・授業中の私語、携帯電話、メールなどは厳禁である。また、無許可での途中退席は不可とする。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	栄養教育の概念	栄養教育の定義・目的 栄養指導、栄養教育の歴史	教科書第1章該当箇所の予習し、特に、栄養教育の定義・歴史を復習する。
2	栄養教育のための理論的基礎 行動科学の理論とモデル①	刺激-反応理論 社会的学習理論、社会的認知理論	教科書第2章該当箇所の予習し、行動科学理論のポイントを復習する。
3	行動科学の理論とモデル②	ヘルスビリーフモデル 汎理論的モデル(トランスセオレティカルモデル)	教科書第2章該当箇所の予習し、行動科学理論のポイントを復習する。
4	行動科学の理論とモデル③	計画的行動理論 ソーシャルサポート	教科書第2章該当箇所の予習し、行動科学理論のポイントを復習する。
5	行動科学の理論とモデル④	コミュニティ・オーガニゼーション イノベーション普及理論 ヘルスリテラシー	教科書第2章該当箇所の予習し、行動科学理論のポイントを復習する。
6	栄養カウンセリング①	行動カウンセリング カウンセリングの基礎的姿勢と主な技法	教科書第2章該当箇所を予習し、カウンセリングの意義を復習する。
7	栄養カウンセリング②	認知行動療法、動機づけ面接 グループカウンセリング カウンセリングの事例	教科書第2章該当箇所を予習し、カウンセリングの基本技法を復習する。
8	行動技法と概念①	刺激統制法、反応妨害・拮抗法 行動置換、オペラント強化、認知再構成法 意思決定バランス、目標設定	教科書第2章該当箇所の予習し、行動変容技法に関して事例を基に理解し、復習する。
9	行動技法と概念②	目標宣言・行動契約、セルフモニタリング 自己効力感、ストレスマネジメント ソーシャルスキルトレーニング、ナッジ (課題レポート)	教科書第2章該当箇所の予習し、行動変容技法に関して事例を基に理解し、復習する。
10	組織づくり・地域づくりへの展開	セルフヘルプグループ、グループダイナミクス、 エンパワメント、ソーシャルキャピタル	教科書第2章該当箇所の予習し、組織・地域づくりへの展開を復習する。
11	栄養教育マネジメント 栄養教育マネジメントで用 いる理論やモデル	プリシード・プロシードモデル ソーシャルマーケティング 生態学的モデル	教科書第3章を予習し、栄養教育マネジメントで用いる理論やモデルを復習する。
12	健康・食物摂取に影響をお よぼす要因のアセスメント	栄養教育のためのアセスメントとは 栄養アセスメントの方法 栄養アセスメントの情報収集 課題抽出の優先順位の特定	教科書第3章を予習し、アセスメントの必要性及びその方法を理解し、復習する。
13	栄養教育の目標設定	目標設定の意義と方法 栄養教育における目標の種類	教科書第3章を予習し、栄養教育の目標設定の意義を理解し、目標の種類を復習する。
14	栄養教育計画の立案①	栄養教育プログラムとカリキュラム 学習者の決定 期間・時期・頻度・時間の設定 場所の選択と設定 教育者のトレーニング	教科書第3章該当箇所を予習し、計画立案に必要な項目を整理し、復習する。
15	栄養教育計画の立案②	学習形態の選択 教材の選択と作成 学習段階の発展	教科書第3章該当箇所の予習をし、学習形態や教材を整理し理解する。
16	定期試験		